〈事例〉

申込書やチェックシートの 改善を重ねサービスの質を向上

南砺市シルバー人材センター 公益社団法人

併して誕生。富山県の南西端に位 村 にされている。 村があるなど、独特の風景が大切 の五箇山の合掌造り集落や、 阜県と接している。世界文化遺産 富山市、西部は石川県、南部は岐 置しており、東部は県庁所在地の 井口村と西礪波郡の福光町)が合 城端町、平村、上平村、 南砺市は、平成16年11月、8町 (東礪波郡の福野町、 利賀村、 井波町 散居

「空き家・空き地等管理サービス事

自分で管理できずに困っ

新サービスとして、ドローン活用の準備も

南砺市SCでは、平成28年度から3年間、地域就業機会

を推進。以降も事業を継続して、実績を伸ばしている。

る人の役に立ちたいとの思いで、個々の依頼に丁寧に応え

を進めていった。

年11月に統合20周年を迎える。 8町村のセンターが統合。 南砺市SCは、平成16年11月に 令和6

拡大事業として

発注者は県外在住者が多く

また、

進めている。

等管理サービス事業 実績を伸ばす空き家・空き地

南砺市では、空き家等が増加傾

ら学び、アドバイスを受けて準備 行うことを検討。先進センターか として挙がるようになった。 増えて、適正な管理が地域の課題 りの草刈りや除草、剪定、伐採が 頼も、管理や小規模の修繕、 向にある中、センターへの就業依 ズや課題解決に応える取り組みを 同センターでは、こうしたニー

り」として、市および市商工会と き地等の点検を行う「管理サービ 共に事業計画を立案。空き家や空 を「南砺市の住みよい環境づく たことを受けて、取り組みの目的 事業が平成28~30年度に実施され ス事業」、敷地内の清掃や庭の除草、 また、地域就業機会創出・拡大

ばしている。

植木の剪定、伐採、

雪吊りなどを

択された。 独自事業となった令和元年度以降 3年間は、 利用する「枝葉のエコ事業」を具 行う「環境保全事業」、剪定で出た も事業を継続し、 るなどして、受注拡大に努めた。 家・空き地等管理サービス事業_ 体的な内容として申請し、「空き 木くずや枝葉などを堆肥化して再 (以下、管理サービス事業)が採 地域就業機会創出・拡大事業の リーフレットを作成す 着実に実績を伸

会員が訪問して点検する 困っている人に代わり

事業は、空き家や空き地等の管

具体的な内容は主に次の通り。 理で困っている人に代わり会員が 定期的に訪問して点検するもので

●基本サービス

②外周/屋根、外壁、外窓、 ①施錠/門塀、 検・確認する。 ③屋外水栓(開栓されている発注 スとして、次の6項目を目視で点 軒先などの異常の有無 者のみ)/漏水の有無 の施錠状態、 管理サービス事業の基本サービ 玄関、 鍵の損傷の有無 勝手口、 雨樋、 窓

> ④庭木/隣家との越境状況や道路 防除の必要の有無 にはみ出していないか、 剪定や

⑥郵便物 ⑤宅地(雑草・雑木繁茂)/不法 投棄や動物のすみかになってい ないか、除草の必要の有無など (相談の上で対応

●追加作業

積もりの上、別料金で、家内の換 地の除草・掃除、樹木管理、 施)、敷地内の除草・掃き掃除、 気および清掃(帰省や在宅時に実 発注者の希望に応じて、無料見 家財

> 確認などの作業を行う。 等の整理整頓、災害による被害の

●料金、

斜金

みの依頼も可能 (税込み)。1回のみ、または年数 (希望回数)や、

〈申込書〉

気付いた点を加筆・修正して現在 齢の親が施設に入っている期間の なっていたり、空き家ではなく高 者によって希望する連絡方法が異 欄がある。これらの項目は、発注 を記入してもらう。A4用紙1枚 家・空き地等管理サービス申込書」 作業には多様な要望があるなど、 みの管理の依頼であったり、追加 希望プランなどのほか、 家または住居中)、通電・通水状況 連絡方法、対象物件の状況(空き で、依頼物件の所在地、希望する つ一つの受注に対応する中で、 新規受注では、発注者に「空き 相談連絡

申し込み方法など

基本サービスが1回1400円 希望する月の

センタ

建物の破損

申込書を基に現地の状況を確認し 金確認を行い、実際の作業に入る て、発注者と受注内容、 作業、

(報告書を郵送)

認結果を迅速に連絡できるよう、 草の繁茂などがあれば分かるよう する。写真は、建物外観、 書をまとめ、郵送で発注者に送付 依頼など、受注内容によっては確 に撮影し、全10点前後。 災害による被害の確認といっ 作業終了後、写真を添えて報告

就業状況 管理サービス事業の

電話で報告することもある。

異常の有無、特記事項、 チェックシート」に沿って行う。 軒ごとに担当会員を決めて、「管理 使用している。点検実施日時、 に合わせて何度か修正したものを ンターを参考に作成し、就業状況 管理チェックシートは、 空き家等の点検・確認作業は1 基本確認の点検箇所と事項 連絡事項 先進セ

南砺市SCの「空き家・空き地等管理サービでは、現在10人ほどの会員が活躍している。 が作成した管理チェックシートに沿って、建 や雑草の繁茂状況などを目視で確認する

の申込書となった。新規受注では、

境に注意が必要と思われます」 繁茂状態が気になります。 たもので、 ひざ丈程度になり、 などの欄をA4用紙1枚にまとめ そうした報告を受けた発注者か 具体的な状況や提案を記す。 連絡事項欄には 隣接地との越 長さが 「草の

ある。 とが徐々に増えてきて、 業に取り組んでいる受注もある。 作成して、管理サービス事業、 家屋ごとの「年間管理工程表」を の除草や剪定を定期的に受けるこ 現在、 剪定などの会員が計画的に作 。また、 管理サービス事業の就業 発注者から、 現在では 敷地内 除

4年間で約100件増 加

どと兼務している会員もいる。

会員は10人ほど。

草刈りの就業な

成30年度は受注件数が325件 の堆肥化等をまとめた実績は、 除草・植木管理・剪定で出た枝葉 連して受注した家屋内清掃や庭の 管理サービス事業と、 これに関 平

> 万円と伸びている。 が に対して、令和4年度は受注件数 契約金額が約418万円だったの 439件、 契約金額が約530

年間で9件増えた。 令和4年度は161件となり、 成30年度の受注件数62件に対して、 管理サービス事業に限ると、 平 4

市と連携しながら、 されていないと感じます。 びを考えると、同事業がまだ認知 務局長は「市内の空き家軒数の伸 トをアピールして、受注拡大を図 しかし、叶山勝之専務理事兼事 事業のメリッ 今後も

> くかが、 き家等の所有者にどう周知して リーフレットを置いてもらうこと 空き家等対策の相談会開催の際 りたい」 ができているという。 市 知に同封する相談先紹介のチラシ に同事業が掲載されている。 の空き家対策担当部署の窓口や 市の協力で、 今後の課題の一つである。 と現状を語る。 固定資産税納税通 さらに、 また、 空 61

> > と言う。

それだけに、受注内容

とはいろいろあることを実感した

٤

困っていることや頼みた

有者の思い

はさまざまであること

管理してもらって安心

ている。

年数回帰省しており、

剪

を20年前から南砺市SCに依頼

家を大切にしていて、

庭木の剪定

は

30年ほど誰も住んでいな

を大事にしていると話す

例えば、県外在住のある発注者

ことを心掛け、

常に「連絡

確認や作業後の報告を丁寧に行う

を担当して、空き家といっても所 川功紘業務係長は、この 事業

行うそうだ。

令和4年度からは2

定や庭掃除はその時期に合わせて

「空き冢・空き地等管理サービス申込書」 (写真上) 何月 年間数回 (回)[例 夏秋冬の3日] 特定月 (4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3) ①基本サービス※○で囲む ②迫加作業サービス · 有 (地区名 と、「管理チェックシート」 <u>調い合かせ先</u>
公益指信能人南領市シルバー人材センター 電話 (0763) 22-8050
〒939-1531 富山県南常市炭林 883 FAX (0763) 22-7544
[申込み先] Email:<u>silver_nanto@sje.ne.jp</u> または FAX でお願いします。 管理委号 4K61 《空き家〉空き地》管理チエックシート 例 地域名 〇月〇〇日 依頼者報告日 前回確認日 **会和○年○月○日** 特記事項 南砺市 院林88番地 (写真下 電話番号 90-1111-2222 基本確認 · 屋内確認 · 聚急災害確認 (共告名 令和○年○月△日 () 实施時間 8時30分~ 晴れ 实施者 板野 _ AS 屋根瓦のはがれ・破損 或ガラス・雨戸の破措 市樋配管の異常・破損

空き家・空き地等管理サービス申込書 《該当箇所に記入またはOつけをお願いします。 ご記入年月日 会和 ご氏名 ご住所 電話番号/FAX 番号 E-mail その他(依頼物件の所在地 現在の対象物件状況 · 住屋由 (転出予定) 通 電 (・有 ·無) 通 水 ご希望のプラン (気になること、伝えておきた いことなど) 市内在住の親族方の有無 お問い合わせ先

除草作業の依頼が入ることが

物件所在地 依頼主 南砺 太郎 [東京都江東区] 確認概要 点検実施日 天 侯 点検餌形 有有有有 (母屋) 電気メーターボックス等破損 屋根瓦のはがれ・破損 窓ガラス・雨戸の破損 有有有有有有有有有 (付無限) 外壁の破損・ひび割れ 歳の外壁はがれ 雨極配管の異常・破損 通水確認(出る水栓のみ) 屋外水栓 膝太程度の状態 雑草繁茂の状態 庭木繁茂の状態 不法投棄 小田牧業隣家・隣地との境界雑草状態隣家・隣地との境界樹木状態 不法投棄 側書・排水路のつまり 学術連絡首覧の分解 野便受けの破損 郵便受けの破損 郵便物・配付物等の状況 有 無 例。草の繁茂状態が気になります。長さが膝丈程度になり、隣接地との越境に往意が必要と思われ 南砺市シルバー人材センタ・

があるという。叶山事務局長は うと安心できる」と言われたこと ずっとお願いしていて、きれいに か月に一度、 のこうした言葉が一番の励みにな してもらっている。家屋について ている。その発注者から、「剪定は 「会員も担当職員も、利用者から 管理をしてもらっていると思 家屋の点検を頼まれ

の新たなオプションとして、ドローン 習」を就業会員が受講した 合会が開催した「ドローンスタッフ講 による建物確認を準備。富山県SC連 「空き家・空き地等管理サービス事業

生じる可能性がありますので、

地

で打ち合わせができない場合が多 が多く、また、日中は仕事をして っています」と話す。 に苦労があったりする。 いため作業範囲を明確にすること いて連絡が取りにくいとか、 しかし、感謝の言葉を受けたり、 発注者は遠方に住んでいること 現地

例えば、「敷地内の樹木の枝が伸び、 危険や近隣への迷惑などの問題が 家は管理できていないと、 でいきたいと考えています。空き ますので、改善しながら取り組ん また、「事業として、もっと困って 仕事というより、自分で管理する いった経験を重ねる中、「会員は、 らも近所の人からも喜ばれた、 受けて対応したところ、発注者か 急に作業してほしい」との依頼を 近所からクレームを受けたので早 いる人にできることがあると思 いると思います」と西川業務係長。 になりたいとの思いで取り組んで ことができずに困っている人の力 倒壊の ع

> ます」と、意欲的に語った。 域課題解決の一助になればと思い

ドローンの活用に向けて

た市民が南砺市SCに入会したと 催を依頼し、令和3・4年度に実 に「ドローンスタッフ講習」の開 行っている。 国への申請と、 けて、ドローン飛行を行うための いう。ドローン活用の具体化に向 を増やすため、富山県SC連合会 えるための準備を進めている。 の確認を事業の追加サービスに加 ドローン操作のできる就業会冒 会員が受講したほか、受講し ドローンによる空き家等 就業基準づくりを

施。

同時に、会員の生きがい、健康増 を心掛けて要望に応えながら、 次のように語った。「遠方にお住い サービスの充実を図っていきたい。 の空き家等対策に貢献できるよう ていただけるよう、細やかな対応 の空き家等の所有者により安心し 叶山事務局長は今後に向けて、

> 進 ていきたいと思います」。 等を保有する人たちと、市のニー 結果として、会員、 として整備し、拡大に励みたい。 ズに応えられる事業として確立し 社会貢献につながる就業機会 地域と空き家

(増山美智子)

事業運営状況								(平成30年度~令和4年度)		
年度	会 員 数 男 女 計		粗入 会率	就業実人員 (延人員)	就業 率	受注 件数	契約金額	公民比		
	人	人	人	%	人 (人日)	%	件	千円	%	
平成30	500	330	830	3.7	764 (90,110)	92.0	7,162	422,329	21.4/78.6	
令和元	489	311	800	3.6	755 (85,634)	94.4	6,860	404,175	21.8/78.2	
2	481	302	783	3.5	711 (75,959)	90.8	6,774	369,455	23.1/76.9	
3	455	294	749	3.4	693 (75,376)	92.5	6,806	366,918	23.1/76.9	
4	446	300	746	3.4	674 (73,007)	90.3	6,842	357,907	22.8/77.2	

· ※受注件数、就業延人員、契約金額は請負・委任と労働者派遣事業を合計した数値 ※就業実人員は請負・委任と労働者派遣事業が対象

※就業延人員は令和2年度から労働者派遣事業の教育訓練受講を含む